

企画部会 若手技術者による「品質を考える勉強会」報告書

去る7月27日に九州支部の協力を得て若手技術者による「品質を考える勉強会」を開催しました。

1. 開催日時と場所

日 時：平成30年7月27日（金） 13:15～17:15

場 所：（株）エイト日本技術開発 九州支社 会議室

2. 開催内容

13:15～13:20 開会の挨拶 企画部会：古賀幹事

13:20～13:30 オリエンテーション 司会進行：企画部会：松岡委員

① 研修内容とスケジュール

② 勉強会の進め方

13:30～14:30 グループ討議 1

① 自己紹介

② エラー体験談紹介

③ グループ討議結果のまとめ、発表資料作成

14:30～15:20 グループ討議結果発表 1

15:20～15:30 休憩

15:30～16:10 グループ討議 2

① 原因の追究と対策の立案

② 発表資料作成

16:10～17:00 グループ討議結果発表 1

17:00～17:10 アンケート記入

17:10～17:15 総評

企画部会：扇委員

18:00～ 懇親会

3. 開催目的

- ・各分野におけるエラー体験を共有することで、技術研鑽の契機とする。
- ・エラーの原因とその対策を立案することにより今後の業務に対する「気づき」を促す。
- ・日頃交流が少ないコンサルタント、ゼネコン、メーカーの若手の交流の場とする。
- ・若手技術者とオブザーバー参加者（九州支部）の交流の場とする。
- ・NPO法人臨床トンネル工学研究所の紹介。

4. 結果

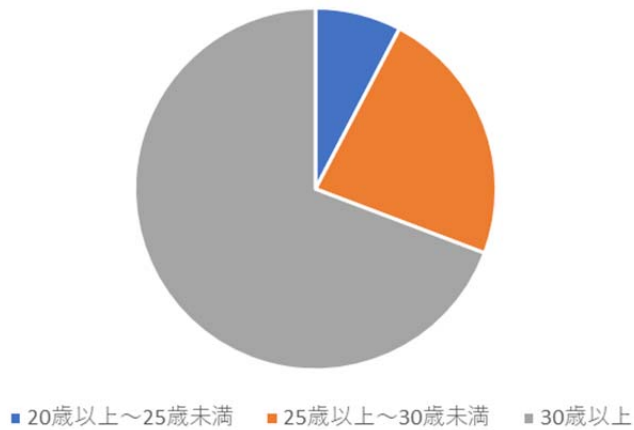
勉強会へは賛助会員としての参加も可能としておりましたので、若手技術者の参加者が13名（正会員3名）でした。また、九州支部よりオブザーバーとして討議の補助や勉強会の記録撮影等で6名に協力いただきました。勉強会後は参加者および九州支部の方々と懇親会を開催しております。開催後の参加者からのアンケート結果は次ページ以降に示しておりますが、参加者からは高評価をいただいております。懇親会でも若手技術者からの色々な意見が出ておりました。若手技術者の技術研鑽の場だけでなく、良い交流会になったと思われますので、定期的に開催できればと考えます。

記録 企画部会 松岡俊夫（株式会社 安藤・間）

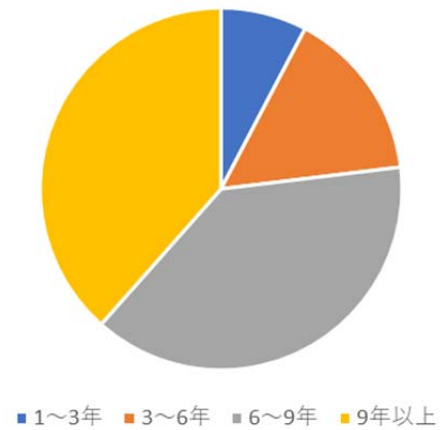
アンケート結果

1. 参加者に関する事項

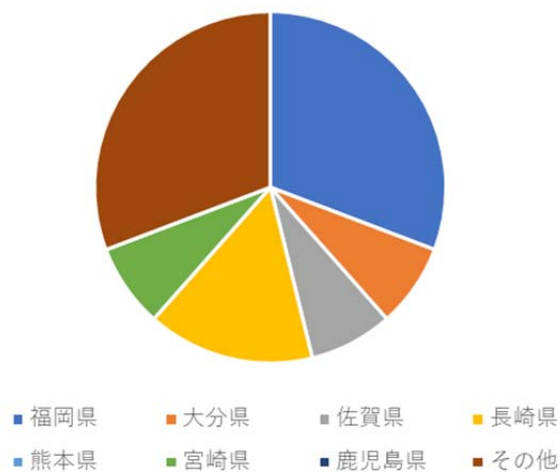
(1) あなたの年齢は



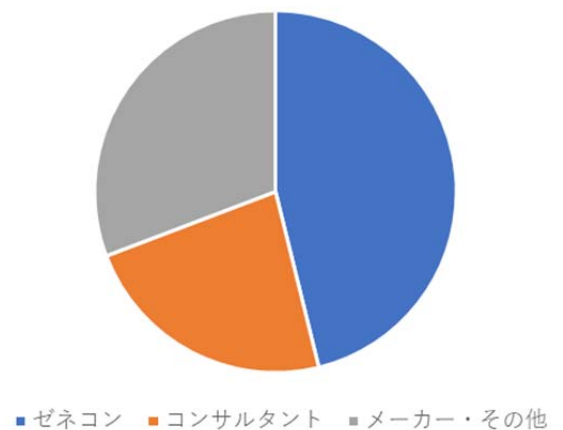
(2) あなたの職務経験年数は



(3) あなたの勤務先の住所は



(4) 所属会社

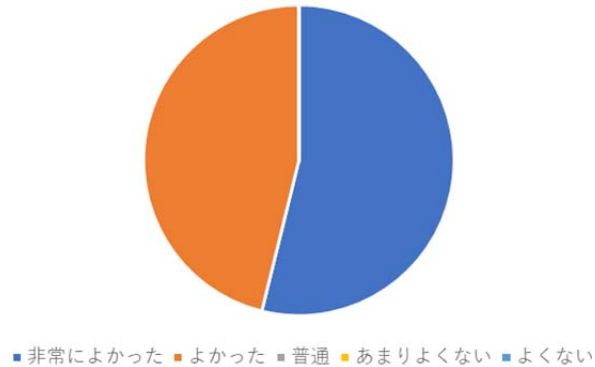


年齢層については、入社2年目～40歳程度としていましたが、30歳以上が多くを占める形となりました。ただ、30歳未満の参加者も4名いましたので、今後も若手の参加者が増えることを望みます。

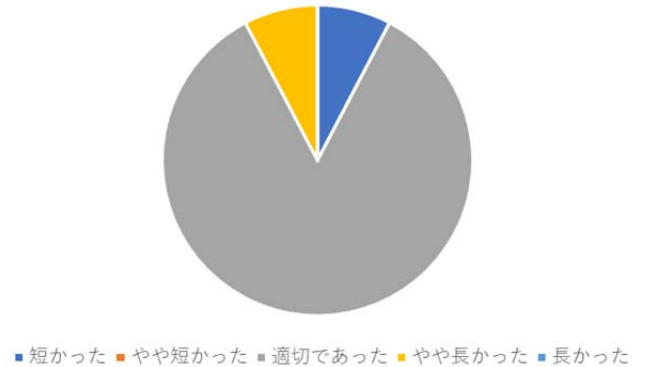
九州各県から参加の他、山口、大阪、東京と広域から参加を頂いております。

2. 「品質を考える勉強会」に関する事項

(1) 勉強会に参加してよかったと思いますか



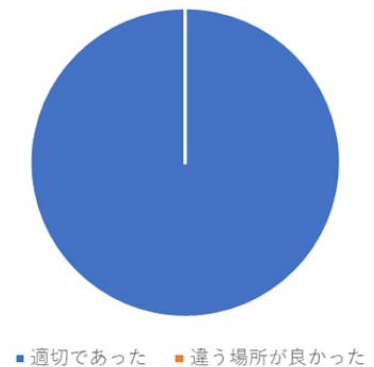
(2) 勉強会時間はいかがですか



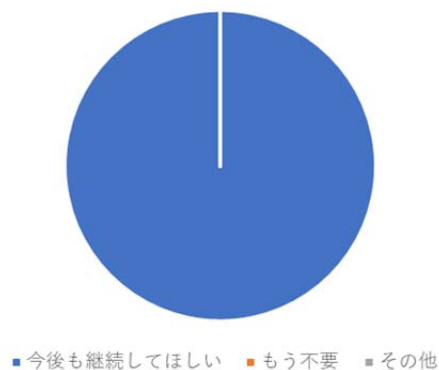
(3) 勉強会の開催時間帯はいかがでしたか



(4) 勉強会の開催場所（博多駅周辺）はいかがでしたか



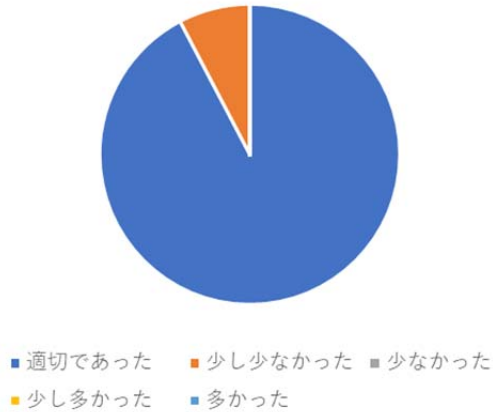
(5) 勉強会を今後も継続すべきだと思いますか



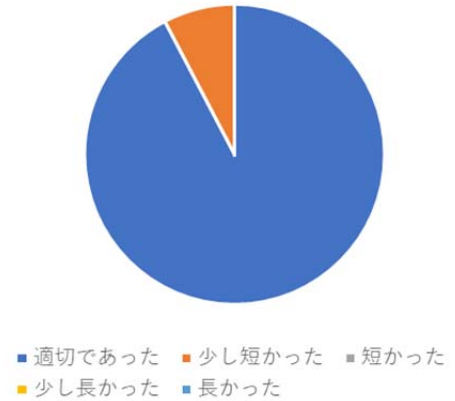
勉強会の評価としては、全員から「非常に良かった」「良かった」と回答をいただきました。勉強会の時間については、おおむね「適切であった」との回答でしたが、一部から「3時間程度が丁度よいような気がします。会の中で間延びした感があったような気がします。」とありました。一方、「一日使ってもいいと思います」との意見もありました。ただ遠方からの参加者のことを考えると、午後からの開催が適切であったと考えております。勉強会の継続については、参加者全員から「今後も継続してほしい」との回答をいただきました。

3. 「勉強会」の内容に関する事項

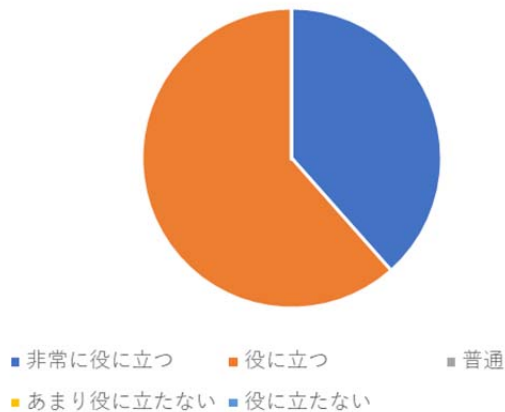
(1) グループ討議の人数構成はいかがでしたか



(2) グループ討議後の発表時間はいかがでしたか



(3) 今回の勉強会は役に立ちましたか



勉強会の内容については、おおむね適切であったとの回答をいただきました。また、今回の勉強会は役に立ちましたかという問いには「非常に役に立つ」「役に立つ」との回答をいただきました。

4. 品質を考える勉強会に関しご意見・ご批判・ご助言および、今後の勉強会で取り上げてほしいテーマについて自由に記載していただいています。記入していただいた内容をそのまま掲載しています。

■全体を通じて

- ・他業種の方との話をする機会が得られ、貴重な時間であった。ただ、どうしても施工する側の話が多かったので、コンサルタントやメーカーの方がメインのテーマで話をしてみたいと感じた。
- ・自分が設計側の立場であったため、施工の話題を聞けて勉強になった。
- ・業種の異なる人たちとのグループワークを通じて、新たな価値観を知ることができた。
- ・施工者、コンサル、メーカー等各々の目線で「こんなのがあったらいいな」などを意見交換できればとおもいます（テーマの提案）。
- ・固定観念で物事を進めることが多い中で、「なるほど・・・」と思うことが討議中ありました。新たな発見があり、とても有意義でした。

- ・ゼネコン、コンサル、メーカーと様々な価値観を持っている方と知り合うことができたことが良かったと思います。
- ・多様な業種の方と交流ができ、初めて聞く話ばかりだったが、勉強になり刺激を受けた。
- ・接することの少ない職種の方と色々話ができ良かった。
- ・もう少し長い時間会議しても良かったと思う。
- ・上司の許可がいるため、エラーの内容が薄かったと思う。
- ・今後取り上げてほしいテーマ：技術者（作業員）不足の対応、ICT技術の活用
- ・他業種の仕事内容の発表の場合、理解ができないため質問ができなかった。事前に内容説明があると良い。
- ・経験、職種の違う人が集まっているので、新しい意見が聞けて良かった。
- ・今後取り上げてほしいテーマ：設計段階で入っている補助工法が発注時に抜けていること（消されている）。
- ・建コンの勉強会とは違って、いろいろな業種の方々が集まって、さらにトンネルに特化した内容であったため、非常に勉強になった。

■勉強会について

- ・同業他社の同年代の方の経験を聞き刺激を受けることができた。次回もぜひ参加したいと思う。
- ・エラーに対する対応策について討議を行ったが、若手と上司で考え方に違いがあるのでは？と感じた。上司の「エラーに対する対応策」として何があるか聞いてみたかった。
- ・興味深かった。
- ・各種様々な事例やエラーを共感できて楽しかったです。
- ・各分野の専門職の意見の出し合いに新たな意見を取り入れて考えることが、非常に重要と分かる会であった。
- ・今までとは違う視点からの考え方を学ぶことができて良かったと思います。
- ・委員の方がアドバイスしていただいたので、上手く討議を進めることができた。若手だけだと厳しい面もあるので、今回のように経験のある方達からのアドバイスや意見があると良いと思う。
- ・もっと話が聞きたい。
- ・職種が違うため話の内容がそれぞれ違っており参考になった。
- ・色々な知識を勉強できて非常に良い会だと思う。意見交換の場としても良い場だと思います。
- ・それぞれが自分の意見を持っていて有意義だった。
- ・全国の各支部での実施（山口県から来ました。中国史部での開催を希望します）
- ・他業種の内容では正直分からない内容もあったが勉強になった。

■その他

- ・自分自身があまり横のつながりがないため、このようなイベントを継続してほしいと感じた。
- ・人数は適切だと思うが回数をふやしてみてもいい。
- ・私の後輩にも今後は是非参加させたい。
- ・現場業務では経験できない横のつながりが持てて良かった。

勉強会の状況写真



挨拶 本企画の目的説明・CITT活動紹介の様子（古賀 企画部会幹事）



九州支部 活動紹介の様子（大和 九州支部長）



グループ討議 1 状況（1班）



グループ討議 1 状況（2班）



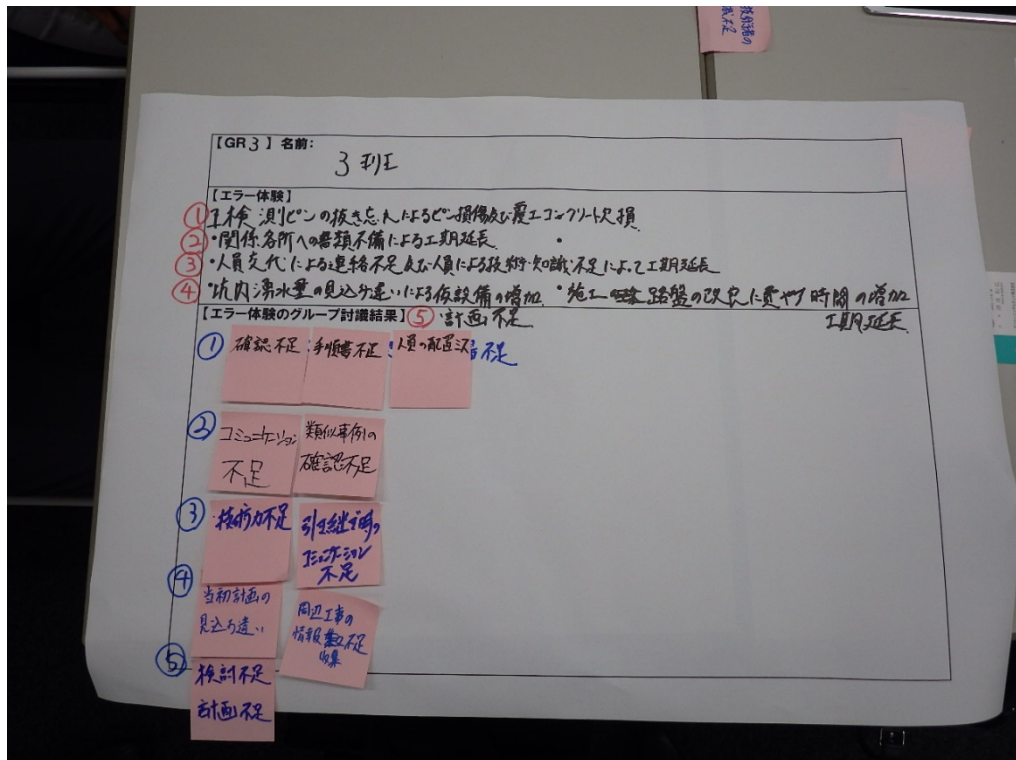
グループ討議 1 状況（3 班）



グループ討議 1 3 班 メンバー紹介状況
※発表順に写真を掲載しております



3班 討議内容の発表状況



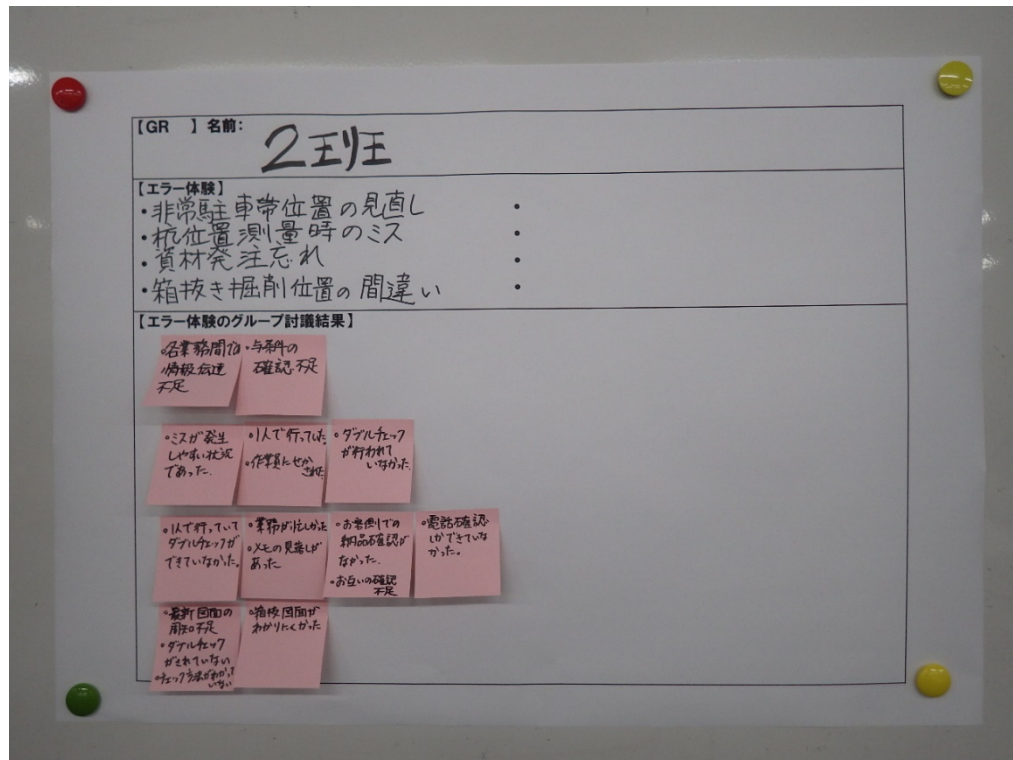
3班 内容発表



2 班メンバー紹介状況



2 班 討議内容の発表状況



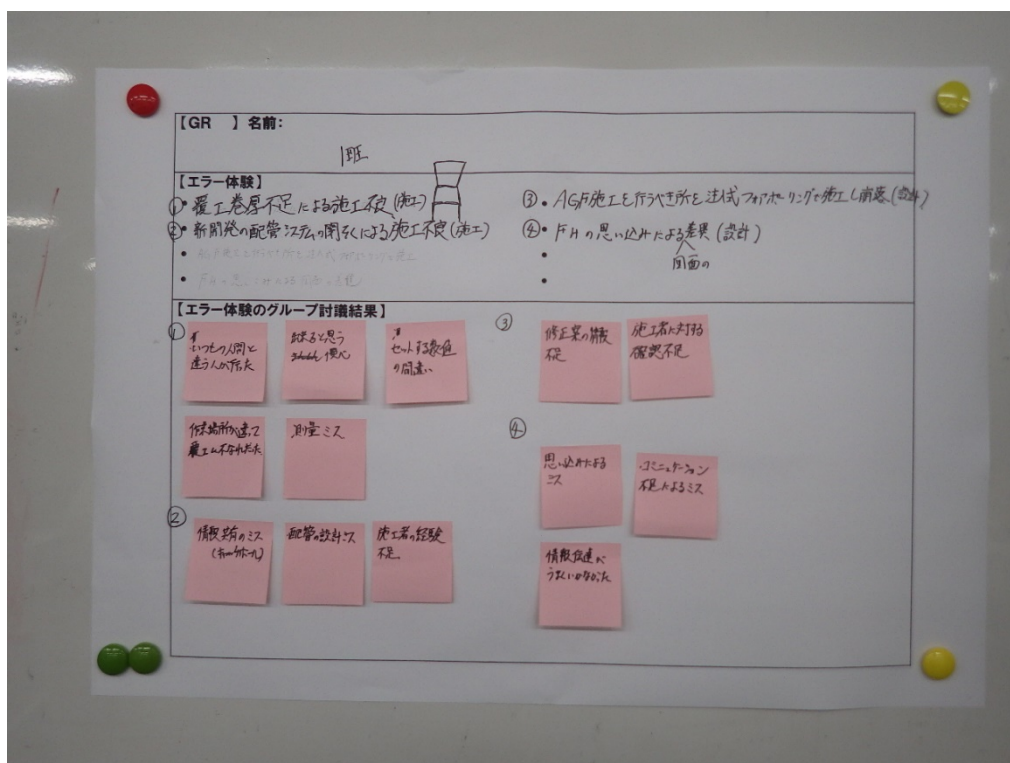
2班 内容発表



1班 メンバー紹介状況



1 班 討議内容の発表状況



1 班 内容発表



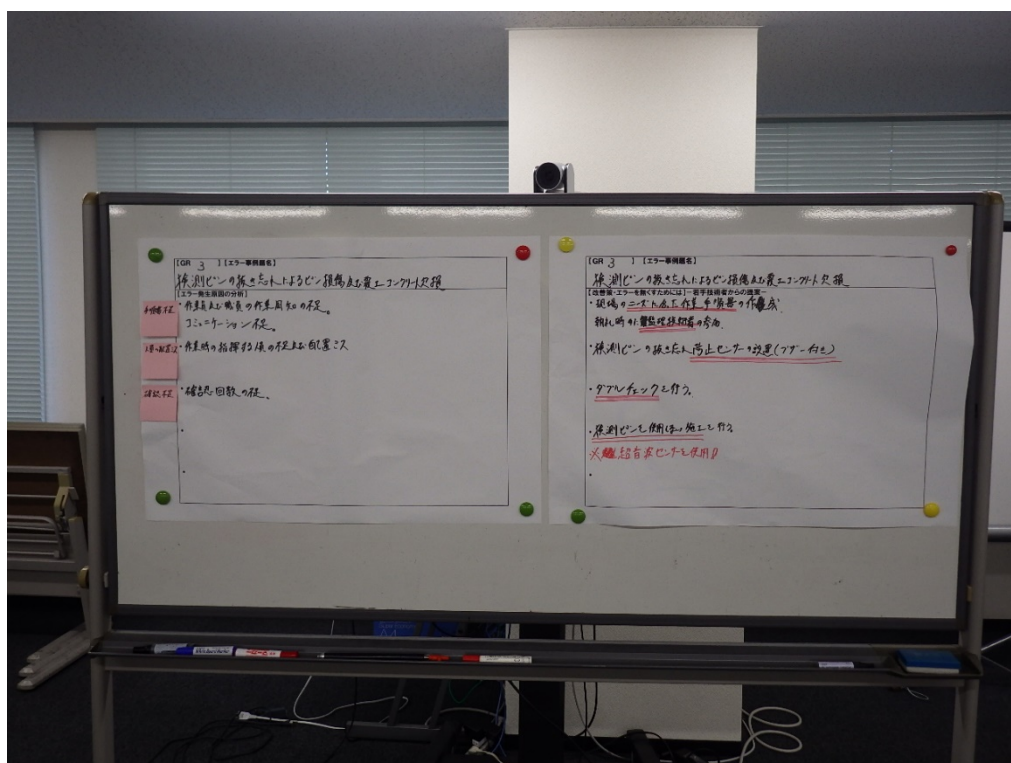
進行の様子（松岡 企画部会委員）



グループ討議2 状況



グループ討議2 3班討議内容の発表状況

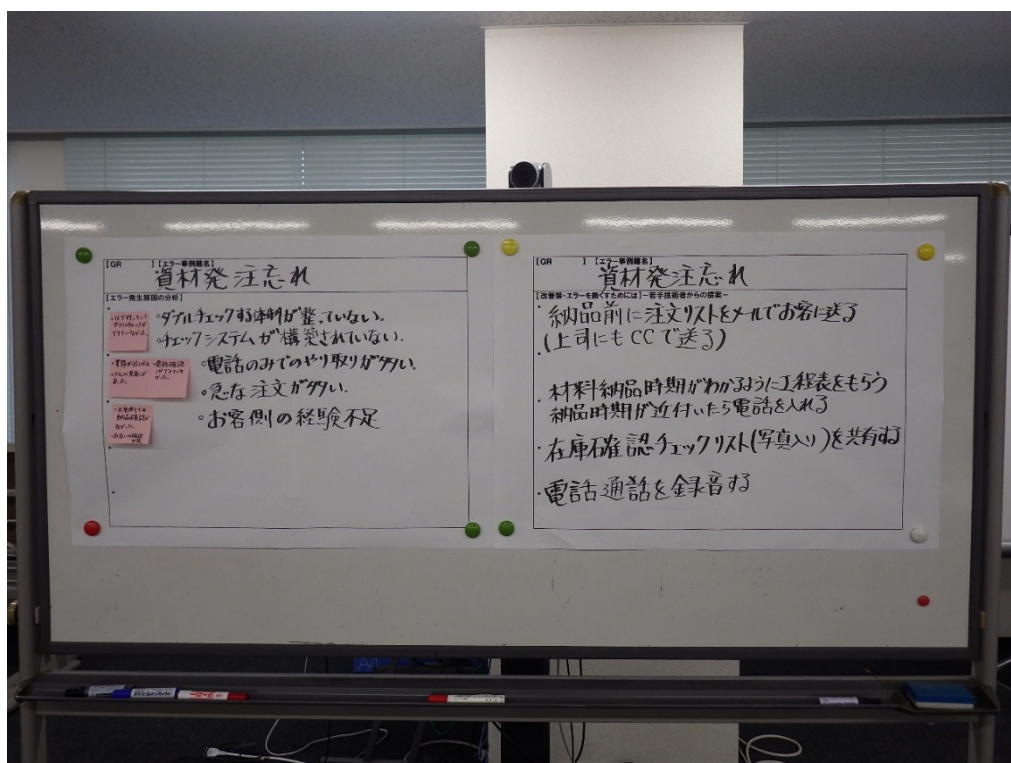


グループ討議2 3班内容発表

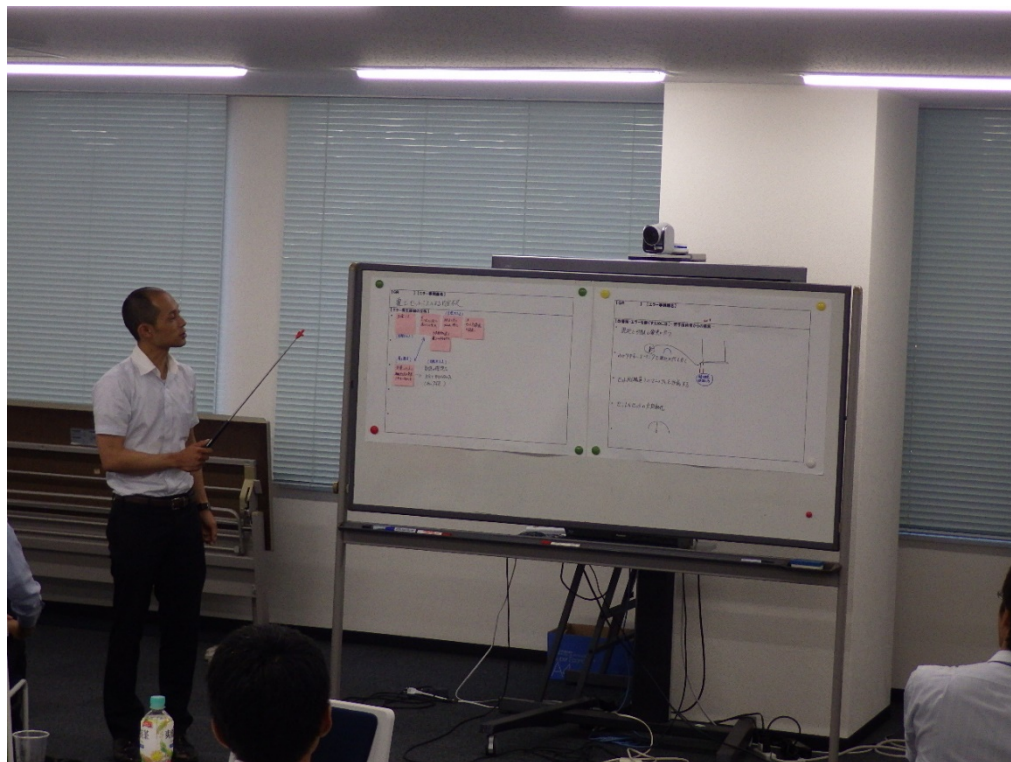
※発表順に写真を掲載しております



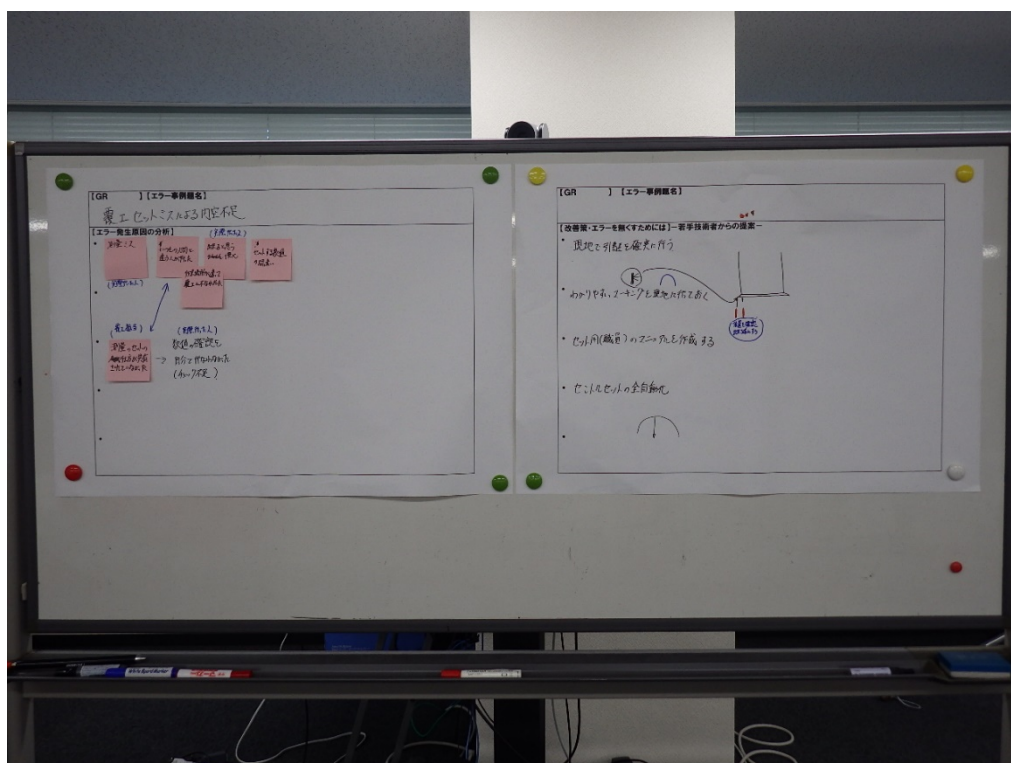
2 班討議内容の発表状況



2 班 内容発表



1 班討議内容の発表状況



1 班内容発表



総評（扇 企画部会委員）



参加者集合写真

（集合写真の撮影：古賀）